

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する10名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行に当たる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下、その一部を掲載します。

問

代表・一般質問を平成16年2月23日・24日・25日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

足立区議会自由民主党



藤沼 壮次 議員

治安を守るために地域は何をすべきか

【問】治安を守るためには、地域の貢献が必要と言われるが、具体的に何をすればよいのかわからない。なぜなら、ついこの間まで、家を留守にする時、少しの間ならカギをかけたというのが当たり前、犯罪に注意を払わなくても良い国であったからである。他の自治体の活動を見ると、パトロール活動が多数を占めているが、具体的にどこが中心になってどんな活動をするればよいのか、足立区としても明確な対応策を区民に提示すべきと思うが、考えを伺う。

【答】「ひったくり」「乗り物盗」などの生活に身近な犯罪の抑止には、防犯意識をもつことと、防犯パトロールなど区民の自主的な防犯活動が極めて有効である。区としては、防犯・防犯キャンプや防犯講演会への講師紹介、防犯活動への助成などを行っていく。
【問】子どもが危険を感じた時保護を求めることが出来る家や店舗には、各団体の協力でステッカーの表示がされているが、それぞれデザインや名称が違い、わかりづらい。
とっさの時、すぐに目につくよう、デザインや名称を統一すべきと思うが、どうか。

【答】「デザイン等の統一」については、子ども達が識別しやすい方向で検討していく。
【問】児童虐待は、今後ますます増加していくと思われる。虐待から子どもを救うためには、少しでも早く事実を発見し、

【問】児童虐待は、今後ますます増加していくと思われる。虐待から子どもを救うためには、少しでも早く事実を発見し、



【答】児童相談所、警察署、人権擁護委員等の区内関係機関の代表者による「児童虐待から子どもを守る対策会議」や「地区連絡会」を開催し、児童虐待の

【問】児童虐待は、今後ますます増加していくと思われる。虐待から子どもを救うためには、少しでも早く事実を発見し、

に清掃工場をつくらないとの決定があった。高額な建設費をかけることはないが、各区が清掃工場を持ち、区内処理を行うことが本当の基礎的自治体であるという当初の理念が問われていると思うが、どうか。また、清掃工場のある区とない区との不公平感を解消するためにどのようなことを考えているのか伺う。

【答】当分の間、清掃工場を新設しないのは、23区間における最も効率的・効果的な運営を選択したためである。
工場がある区もない区も相互に協力連携し、全体の責任として安定的な中間処理体制を確保していくことが、区内処理の理念にかなうものと考ええる。

【問】地上デジタル放送の本格実施のため、60m級のタワー（第2東京タワー）の建設が必要として、NHKと民法5局は今後1年間を目標に建設候補地を絞り込む意向である。また、できれば23区内に建設を希望しているとも聞く。足立区としても、区内観光振興の目玉として、その誘致に最善を尽くすべきと思うが、どうか。

【答】第2東京タワーについては、巨額な事業費の負担、航空法上の高さ規制、建設地域住民の合意など多くの課題がある。しかし、完成すれば一大観光資源となることは確実であり、誘致の可能性があれば積極的に



【問】学校週5日制の導入によって、学力の低下が懸念されている。東京都は、中学2年生を対象に学力調査を実施したが、それだけではなく、足立区として独自に、全児童・生徒の調査をし、学力向上の対応策を検討すべきと思うが、どうか。

【答】児童・生徒の学習状況を的確に把握し、指導の改善に役立てていく。現在、校長代表と教育委員会事務局で学力向上策を検討している。

【問】授業時数の確保のため、16年度から2期制を実施するが、それだけでは十分ではない。特区を申請し、月に2回ほど土曜日の授業を復活させ、その出勤分を夏季休業期間に教員の休暇を振り替えることができるよう工夫してはどうか。

【答】土曜スクールに参加した場合は、夏休みに振り替えて休めるように東京都に制度改革を求めている。
【問】町会・自治会は地域のコミュニティをつくりあげる大事な組織である。町会会館や倉庫等は役員、個人に頼るところが多く、極めて不安定な状況に置かれている。区の前向きな支援

がないにも拘らず、足立区の町会・自治会の活動は他区より活発である。事務所・倉庫等の用地提供についてどのように考えているのか伺う。
【答】会館建設に対しては助成をしているが、建設用地は提供していない。一方、町会・自治会の倉庫設置場所の提供は、現在、区民消防隊を組織している町会・自治会に限り、ポンプ等の格納庫として対応している。今後、安全・安心に関する区民要望を踏まえ、検討していく。

【問】今後の学校改築を考えると、近隣の地域学習センターなど、近隣の公共施設との合築を検討せざるを得ないが、平成21年以降の大量学校改築需要を考えると現段階から財源の裏づけを含め、全庁的にプロジェクトを組んで、地域別の建設計画を検討していく必要があると考えるがどうか。
【答】敷地の形状や広さ、接道条件や周辺の公共施設の状況等を勘案し、予め複合化計画を立案していく必要がある。平成16年度策定予定の新基本計画において、施策の基本的スタンスを明確にした上で、中期財政計画の見直しの中で具体化していく。なお、検討にあたっては、全庁態勢で取り組んでいく。
【問】授業として使わない放課後や、土曜・日曜日にどれだけ学校施設を地域の方々が活用できるかが、コミュニティスクールの真価が問われるところである。
例えば千寿双葉小学校の建設基本方針の中でも、「学校施設の有効利用も含め、地域活動や生涯学習活動の拠点としての整備を行う」としているが、具体的にどのようなことを考えているのか伺う。

【問】千寿双葉小学校の建設計画は、地域の方々が活用できる会議室や学習室などの地域連携施設を設置し、地域活動の「場」としての提供や、体育館の有効活用とともに、特別教室についても一般利用を前提とした施設内容を検討している。貸し出し可能施設を集中配置するなど一般の方が利用しやすいコミュニティゾーンとスクールゾーンを明確にし、利便性や安全性の向上を図り、有効活用を行っていく。特色ある学校づくりについて
【問】小学校の建設にあたっては、近隣の幼稚園、小・中学校等、子ども達を取り巻く周辺の環境を一体として考え、地域の特性に応じた特色ある学校づくりが求められている。特にプールや体育館等の学校施設の有効利用についても検討すべきと思うが、どうか。
【答】今後の学校プール等の建設については、従来の考えにと

【問】千寿双葉小学校の建設計画は、地域の方々が活用できる会議室や学習室などの地域連携施設を設置し、地域活動の「場」としての提供や、体育館の有効活用とともに、特別教室についても一般利用を前提とした施設内容を検討している。貸し出し可能施設を集中配置するなど一般の方が利用しやすいコミュニティゾーンとスクールゾーンを明確にし、利便性や安全性の向上を図り、有効活用を行っていく。特色ある学校づくりについて
【問】小学校の建設にあたっては、近隣の幼稚園、小・中学校等、子ども達を取り巻く周辺の環境を一体として考え、地域の特性に応じた特色ある学校づくりが求められている。特にプールや体育館等の学校施設の有効利用についても検討すべきと思うが、どうか。
【答】今後の学校プール等の建設については、従来の考えにと

